



事業活動の概況

- 12 概要
- 14 産業車両
- 23 物流
- 24 カーエアコン用コンプレッサー
- 26 自動車
- 30 繊維機械

概要

自動車

主要な商品

- 車両
- ディーゼルエンジン
- ガソリンエンジン
- カーエアコン用コンプレッサー
- 自動車用エレクトロニクス部品
- 鋳造品
- プレス金型

自動車部門は連結売上高の48%を占め、当社にとって最大の事業分野です。車両部門では、トヨタ自動車(株)の委託により、ヴィッツ、RAV4、マークXジオを生産しています。エンジン部門では、次世代クリーンディーゼルエンジンや、産業車両用エンジンの開発・生産に加え、トヨタ自動車からの受託エンジンの生産も行っています。世界トップシェアのカーエアコン用コンプレッサー部門では、自社開発による固定容量型、可変容量型コンプレッサーなどを生産しています。その他、エンジン用の鋳造部品、自動車用エレクトロニクス部品などを生産しています。

当期の自動車部門の売上高は9,692億円、営業利益は415億円となりました。

産業車両

主要な商品

- フォークリフト
- ウェアハウス用機器
- 高所作業車
- 自動倉庫
- 無人搬送車

産業車両部門では、フォークリフト、ウェアハウス用機器、ショベルローダー、トラクタなどの産業車両や、高所作業車、自動倉庫、無人搬送車などの開発・生産・販売・サービスを行っています。世界トップシェアのフォークリフトは、トヨタ、BT、レイモンドなどのブランドで販売されています。

当期の産業車両部門の売上高は7,831億円、営業利益は398億円となりました。

物流

主要なサービス

- 陸上輸送サービス
- 物流企画
- 物流センター運営
- 集配金・売上金管理
- 情報保管管理・集配サービス

物流部門では、トラックによる貨物輸送や倉庫業務のほか、お客様の物流コスト低減を目的に、物流関連業務全般を一括して請け負う物流ソリューション事業を展開しています。J-SOX法への対応など、現代社会の要請に応え、お客様の総合的な物流最適化に貢献することで、順調に業績を伸ばしています。

当期の物流部門の売上高は1,175億円、営業利益は42億円となりました。

繊維機械

主要な商品

- 高速リング精紡機
- 粗紡機
- エアジェット織機

繊維機械部門は紡機と織機を生産・販売しています。紡機は高速リング精紡機、粗紡機など、織機はよこ糸を空気力で運ぶエアジェット織機などを生産・販売しています。

当期の繊維機械部門の売上高は662億円、営業利益は42億円となりました。

その他

主要な商品

- 半導体パッケージ基板
- 生産設備

その他部門には、半導体パッケージ基板を生産するためにイビデン(株)と合併で設立した(株)ティアーアイビーシーなどが含まれています。

当期のその他部門の売上高は642億円、営業利益は67億円となりました。



RAV4



7SEU17
コンプレッサー

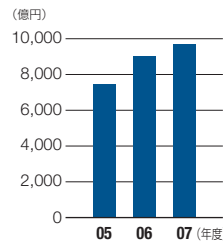


VD型
ディーゼルエンジン

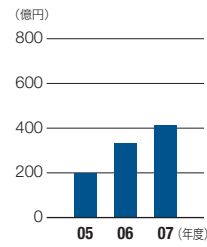


DC-DCコンバーター

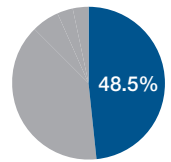
売上高



営業利益



売上高構成比



GENEO
カウンタータイプ
フォークリフト

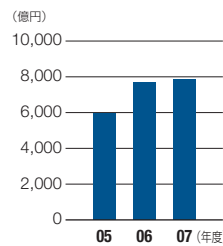


Reflex
リーチタイプ
フォークリフト

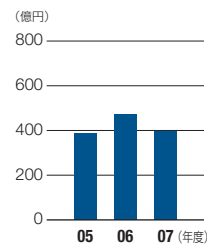


SB12A
高所作業車

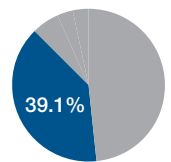
売上高



営業利益



売上高構成比



集配金・売上金管理

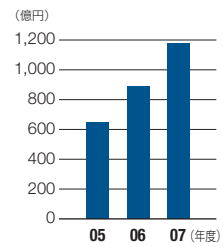


陸上運送サービス

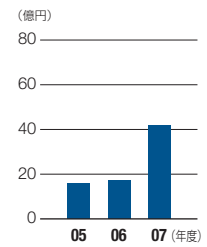


情報保管管理・
集配サービス

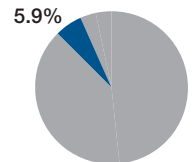
売上高



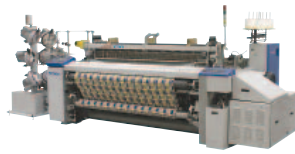
営業利益



売上高構成比

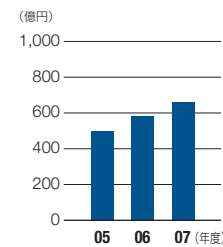


RX240シリーズ
高速リング精紡機

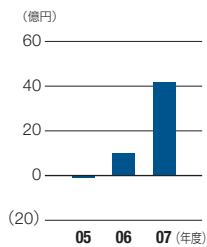


JAT710
エアジェット織機

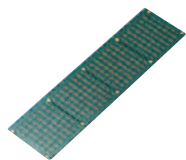
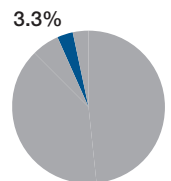
売上高



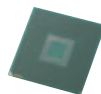
営業利益



売上高構成比

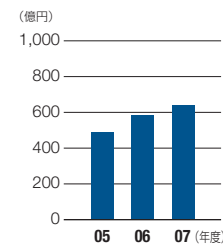


デジタル機器用
パッケージ基板

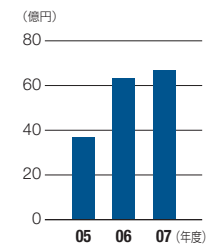


パソコンMPU用パッケージ基板
(FCタイプ)

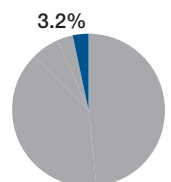
売上高



営業利益



売上高構成比



注：各部門の売上高はセグメント間取引を含んでいない数値を掲載しています。一方、各部門の営業利益は、セグメント間取引を含んだ数値となっています。

産業車両

世界のリーディングメーカーとして、お客様に最適なソリューションを提供

豊田自動織機の産業車両事業は、フォークリフトをはじめとする産業車両や、「搬送」「保管」「仕分け」にかかわる物流機器・システムの開発・生産・販売・サービスを行っています。

お客様が抱える物流課題に対し、技術力と物流ノウハウで最適なソリューションをワンストップで提供しています。

フォークリフトをはじめとした産業車両のリーディングカンパニーとして、トヨタ、BT、レイモンドなどのブランドで世界中のお客様へ販売を行っており、高所作業車についても、国内トップシェアのアイチのブランドでお届けしています。

過去最高の販売台数を記録

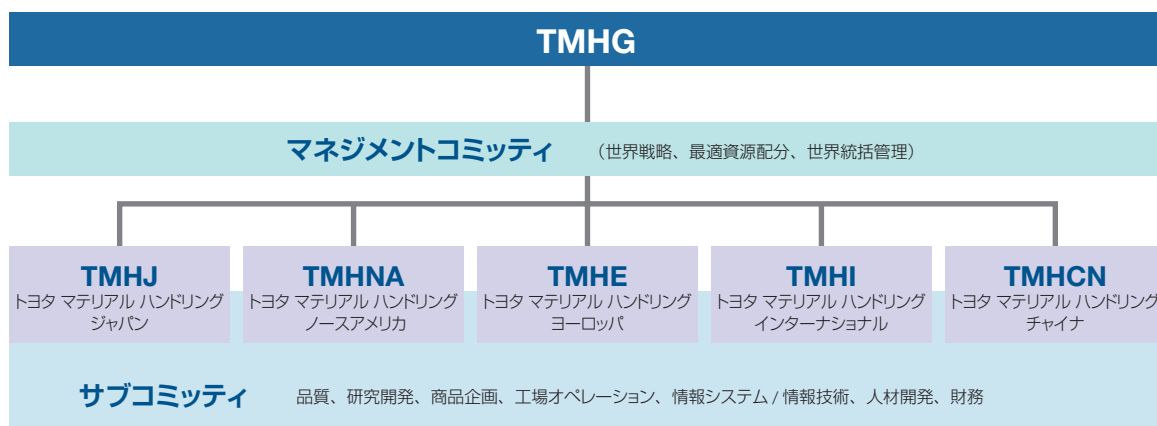
2007年度の産業車両事業の売上高は7,831億円となり、前年度を159億円上回りました。前年度にはBTインダストリーズグループが12月から3月へ決算期を変更したため、15ヶ月分の決算が含まれており、この決算期変更の影響を除いた実質ベースでは、売上高は前年度を806億円上回っています。主力であるフォークリフトの販売は、米国市場で景気減速の影響を受けて減少を余儀なくされましたが、欧州やアジア・オセアニアなどの好調な市場がカバーし、全世界合計での販売台数は過去最高を記録しました。高所作業車のアイチコーポレーションも、日本国内の主要販売先である電力業界などでの需要増加を背景に、業績は堅調に推移しました。

TMHG

トヨタL&FカンパニーとBTインダストリーズグループは、2000年にパートナーとなって以来、お互いの強みを活かしつつ、商品相互供給、販売・生産ノウハウの共有、人材交流、部品の共同調達などのシナジー効果を追求してきました。そして2006年4月、本格的な経営統合によりシナジーを極大化する機が熟したと判断し、新たな組織「トヨタ マテリアル ハンドリング グループ (TMHG)」で本格的に活動を開始しました。

現在、世界の産業車両市場における「圧倒的No. 1」の実現をめざした取り組みを進めており、一つひとつ着実な成果が現れ始めています。これまでのTMHGのシナジーとして、共同開発（欧州向け3輪バッテリー式フォークリフトなど）、キーコンポー

トヨタ マテリアル ハンドリング グループ組織図



注:TMHGは、世界市場を「日本」「北米」「欧州」「インターナショナル」「中国」の5地域に分け、各地域に意思決定機関としてのボードを置いて管理・運営を行っています。そして、TMHG全体の戦略立案と管理の統括は、TMHGのトップマネジメント、各地域組織の代表者などから成るマネジメントコミッティが行っています。また、「品質」「研究開発」「商品企画」「工場オペレーション」「情報システム/情報技術」「人材開発」「財務」などの主要機能は、各地域別組織の機能部門の代表で構成されるサブコミッティを設け、地域間で連携することで、各地域で、また全世界的に培ってきた貴重な経験やノウハウを共有しています。

ネットの開発、トヨタ生産方式(TPS)のグループ全体への横展開による生産体質強化、地域ごとの販売体制の再編、さらにはシステムの共通化による開発の効率向上など、その成果は着実に拡大しています。

トヨタブランドは、カウンタータイプフォークリフトの分野で日本はもちろんのこと、全世界で確固たるポジションを築いています。一方、BTブランドは欧州で強いブランド力を有しており、レイモンドは北米で強みを持っています。TMHGは、トヨタ、BT、レイモンドなど、それぞれの持つ強力なブランド力を活かせるよう、地域ごとに最適なブランド、販売チャネル体

制を固めて事業展開を進めていきます。

こうした取り組みにより、今後さらなるグローバルシェアの向上を果たし、一層の収益向上をはかっていきます。

2007年度地域別事業の状況

日本市場

2007年(暦年)の日本のフォークリフト市場は、前年を若干下回る水準で推移しました。

トヨタ マテリアル ハンドリング ジャパン(TMHJ)では、お客様に商品をより満足してお使いいただくため、積極的な販売・サービス活動を進めてきました。この結果、2007年度の販売台数は、前年度並みの39千台となり、日本国内の市場シェアは、42年連続でのNo.1を記録することができました。

2007年11月には、3.5～5トン積エンジン式フォークリフトGENEO-PRO、5～8トン積エンジン式フォークリフトG300をマイナーチェンジし、商品力をこれまで以上に強化しました。GENEO-PRO、G300はともに電子制御エンジンと三元触媒マフラーを標準装備し、排出ガスのクリーン化、低燃費、高出力を実現しています(国内特殊自動車排出ガス2007年規制に適合)。また、G300には新型コモンレール式ディーゼルエンジンを搭載した高出力車を新たに設定し、船内荷役など強力なパワーを求められるお客様のニーズに答えています。

物流システム機器では、新型ユニットパレット用自動倉庫ラックソーターP(1トン系(2007年5月)、1.5トン系・2トン系(2007年10月))を発売し、商品力を強化しました。この新型ラックソーターPは、予防保全による安定稼働の確保という観点から消耗部品交換時期を自動的にお知らせする機能を装備し、また、万が一の故障の際にも、早期復旧を支援する異常復旧ガイダンス表示機能も搭載し



GENEO-PRO



G300

ています。

今後もフォークリフト、ウェアハウス用機器、自動倉庫、無人搬送車、高所作業車など、豊富な商品ラインナップとノウハウを組み合わせ、お客様に最適な物流ソリューションを提供してまいります。

北米市場

2007年の北米市場は、サブプライムローン問題の影響などによる景気の後退に伴い、販売台数は約5%減少しました。

トヨタ マテリアル ハンドリング ノースアメリカ(TMHNA)は、「トヨタブランド」と「レイモンドブランド」の2ブランド2チャンネルでフォークリフトの事業を展開しています。トヨタブランドはカウンタータイプのエンジン式・バッテリー式座席型フォークリフトを強みとしており、幅広い商品群を取り揃えています。一方、レイモンドブランドは倉庫業務や配送業務向けのバッテリー式フォークリフトに力を入れており、広範な商品ラインナップを誇ります。トヨタ、レイモンドともに従来から強いブランド力・販売力を誇っており、それぞれの強みを最大限に活かして販売・サービス活動を推進しています。

トヨタブランドは、2007年も北米においてNo.1の販売実績を上げ、6年連続北米No.1のフォークリフトサプライヤーとなりました。商品ラインナップやサービスは、品質・耐久性・信頼性などの点において、引き続き業界の専門家から高い評価を受けています。その一例として、リード・リサーチ・グループの「Modern Materials Handling」誌では、トヨタフォークリフトが品質と総合的価値の部門で4年連続No.1となり、また、トヨタブランドの新型エンジン式フォークリフト(北米では8シリーズとして販売)は「Plant Engineering」誌の年間最優秀商品ランキングにおいて銀メダルを受賞しています。今後も、これらを励みに、お客様の満足度向上に継続的に取り組んでいきます。

レイモンドブランドでは、2007年度、多くの新商品を発表しました。そのひとつである4100/4200シリーズカウンタータイプ立席フォークリフトは、倉庫内作業や高い生産性を求められる現場用に設計されています。また、同時期に発売された4400シリーズバッテリー式座席型3輪フォークリフトは、埠頭での重作業やラックシステムの高速運搬、オーダーピッキングした

産業車両

品物の移送に最適なモデルです。このうち、4200シリーズフォークリフトは「Plant Engineering」誌から2007年のプロダクトオブザイヤーとして表彰されています。これは業界において、最も優れていると評価された商品に対して贈られる権威ある賞です。

さらに、2007年12月には、新型のハンドパレット102XM、8300シリーズウォーカーパレット、8400シリーズエンドライダー・パレットトラックを発売しました。これらは耐腐食性を持つよう設計され、業界で最も商品レンジの広いハンドパレットです。

TMHNAは、環境保護や社会貢献の活動にも積極的に取り組んでいます。2007年の年初から、トヨタブランドの新型8シリーズを生産開始して以来、丸一年を迎えました。TMHNAでは8シリーズの環境性能の高さを象徴する取り組みとして、アーバー・デイ財団とのパートナーシップにより、北米の森林再生活動の支援として、この新商品を1台売り上げるたびに、木を1本植える活動を行っています。その結果、2008年初めに20,000本の植樹を行うことができました。また、2007年11月にカリフォルニア州で発生した大規模な山火事の被災者復興支援の一環として、フォークリフトとハンドパレットを13台、さらに55,000ドルをアメリカ赤十字社に寄付しました。こうした環境保護や社会貢献の取り組みにも、今後ますます力を注いでいきます。

一方、2007年度の終わりに、レイモンドは水素燃料電池技術の3ヶ年R&Dプログラムを開始しました。レイモンドのグリーン工場は「living lab」として、屋内タイプ的高速水素補給システムを含め、実際の現場における水素燃料電池フォークリフトの使用について研究しています。燃料電池についてこのような取り組みを開始したのは、北米ではレイモンドが初めてです。

また、TMHNAでは、ニューヨーク州グリーン、アイオワ州マスカティン、インディアナ州コロムバス、オンタリオ州プラントフォードの各生産拠点でTPSの導入を進め、生産拠点を継続的に改善してきました。この活動により、これまで以上に品質と信頼性の面でトヨタブランドおよびレイモンドブランドの評価を一層高めることができたと考えています。

欧州市場

2007年の欧州のフォークリフト市場は、中東欧の持続的な高成長にリードされ、前年に引き続き拡大しました。こうした中、トヨタ マテリアル ハンドリング ヨーロッパ(TMHE)では、前年度を上回る72千台の販売を記録することができました。

TMHEでは、欧州の多くの地域において、トヨタブランドとBTブランドの販売網の統合を進めています。販売網統合の結果、より高度なサービスの提供と付加価値のある提案を展開できるようになり、また、今まで以上に幅広い商品ラインナップをワンストップでお客様に提供できるようになりました。

複数の国にまたがって事業を展開しているお客様には、現地の販売店スタッフとTMHEの専任チームが連携し、これまで以上に高度なサービスを提供するように努めています。こうした連携は、TMHEが活動している30ヶ国以上の国々で実施されています。



TMHE では、全欧で4,800人以上の高度に訓練されたサービス技術者が活躍しています。

商品においては、2007年9月に新型トヨタToner (1.5トン～3.5トン積エンジン式カウンタータイプフォークリフト)を発売するなど、商品力の強化を進めています。この新型フォークリフトは、安全性、生産性、耐久性、快適性、環境など欧州のお客様のニーズに的確に応えています。また、オプションのToner+Formulaは、お客様の特殊な作業環境における安全性、生産性、快適性、耐久性の向上を実現しています。この新型トヨタTonerは、99%がリサイクル可能な点や、欧州の厳しい新排ガス規制をクリアしたことなどで高い評価を獲得し、フランスで開催されたEuropack07において「環境考慮型デザイン賞」を受賞しました。



Toner

さらに、TMHEでは、数々のウェアハウス用機器も新たに投入しています。新型BT Opus OME100N および BT Opus OME100NW オーダーピッカーは、安全で人間工学的に自由度の高いピッキング作業を可能にし、マイナーチェンジしたBT Reflex-M リーチタイプフォークリフトやBT Veflex ベリーナローアイル(VNA)シリーズは、作業生産性の向上を実現しています。また、新たに発売開始したBT Lifter Silent ハンドパレットは、従来より30%静粛性を高めて、夜間のオペレーションでの騒音規制に対応しています。

こうした結果、TMHEはトヨタ、BT、チェサブランドの合計販売台数で過去最高を更新しました。

今後もこれまで以上にお客様に密着した革新的なサービスとソリューションを提供し、持続的な成長を遂げていきます。

インターナショナル・中国市場

インターナショナル市場には、アジア（中国除く）、中東、オセアニア、中南米、アフリカなどが含まれます。著しい経済発展によりフォークリフトの需要が引き続き高い水準で推移している地域です。こうした地域において、トヨタ マテリアル ハンドリング インターナショナル (TMHI) は、販売網やサービス網の拡充と強化に取り組み、より幅広い商品ラインナップでフォークリフトやウェアハウス用機器の提供に注力しました。

インドでは、販売・サービス地域を広げるため、新たな支店をインド国内に開設しました。飛躍的な経済発展により、インド市場の重要性はますます高まると考えています。

ブラジルにおいても、事業の強化をはかり、物流のあらゆる側面でお客をサポートできるよう、トヨタ、BTブランドの販売ネットワークの統合に取り組んでいます。

中国では、高まる需要に対応し、販売代理店網を立ち上げました。豊田産業車輛(上海)有限公司が、拡大する販売代理店網



豊田工業(昆山)有限公司

を対象にトレーニングプログラムを整備しています。お客様からの信頼と満足をいただけるよう、このトレーニングを通じてそれぞれの販売代理店が高いレベルの商品知識・物流知識を習得しています。生産面では、中国の生産拠点である豊田工業(昆山)有限公司のフォークリフト生産能力を2008年初めから、年産5,000台に拡張しています。

今後に向けて

日本市場

2008年の日本のフォークリフト市場は、弱含みの日本経済を背景に、緩やかな伸びにとどまると見込んでいます。

こうした中、メーカー間の競争は一層激化する事が予想され、TMHJとしては商品力をこれまで以上に強化していく計画です。キーコンポーネント（エンジン、モーター、油圧バルブ等）の開発にさらに注力し、他社商品との差別化をはかるとともに、日本で開発したキーコンポーネントを全世界の拠点で共通化し、コスト削減にも積極的に取り組んでいきます。

2008年4月には、バッテリー式フォークリフトGENEO-Bをマイナーチェンジし、発売を開始しました。今回のマイナーチェンジでは、後進時の安定した運転姿勢と後方視野を確保するリアピラーアシストグリップ（ホーン付き）を新たに標準装備するなど、安全面での一層の充実をはかっています。今後も、バッテリー市場への取り組みをますます強化し、お客様のニーズにマッチした提案型営業、ソリューション営業を積極的に進めていきます。

生産面においては、2008年5月に、子会社の(株)半田キャスティング(愛知県半田市)において主要部品であるカウンターウェイトの生産を開始しました。当社ではこれまでもネック工程の解消などにより、主力の高浜工場(愛知県高浜市)の生産性を向上させてきました。

今後もフォークリフトの世界需要が高まる中、ネック工程やネック部品の解消を継続的に推進し、需要の増加に対応していきます。また、地域ごとの需要変動に対応するため、グローバル最適生産・供給体制の構築にも取り組んでいきます。

北米市場

2008年の北米市場は、引き続き厳しい状況が続くと予想されます。厳しい中においても、TMHNAは、事業体質の一層の強化

を進め、お客様へのより良い商品やサービスの提供に努めています。

TMHNAでは、「お客様にとって最も成功し尊敬される物流ソリューションプロバイダーとしての地位を維持する」というビジョンのもと、いくつかの新たな取り組みを進めています。

商品面では、2008年3月にダラスで開催された航空産業エキスポに出展したトヨタブランドの

ディーゼルエンジン式
トーイングトラク

ターを、インディアナ州コロンバスの生産工場ですべて生産を開始しました。この商品をアメリカで生産



トーイングトラクター(02-2TDU25)

することにより、

ディーゼルエンジン式トーイングトラクターをお客様により迅速に納入できるようになります。

さらに、TMHNAでは、2008年後半にAC駆動リーチタイプバッテリー式フォークリフトや22,000～35,000ポンド積エンジン式フォークリフトの発売も計画しています。新型リーチタイプバッテリー式フォークリフトは、2009年1月に開催される北米最大の物流システム・機器の展示会「ProMat」に出展する予定です。

また、TMHNAでは、これからも環境への責務を果たすとともに、アーバー・デイ財団への貢献を続けていきます。2008年度もフォークリフトを1台売り上げるたびに木を1本植える活動が続け、2009年初めまでに新たに30,000本の植樹を実現したいと考えています。

一方、レイモンドブランドでは、脈々と続く「革新と技術的

産業車両

リーダーシップ」の考え方をしっかり引き継ぎ、2008年、バッテリー式フォークリフトをさらに強化します。倉庫や配送センター業務向けのフリート最適化システム「iWarehouse™」の提供を開始し、フォークリフトのデータをリアルタイムで収集解析することにより、生産性を最大限に引き出し、コスト削減を可能にします。倉庫業者はレイモンドのウェブポータルからこの情報にアクセスすることによって、報告書の作成、フォークリフトやオペレーターの生産性比較評価、故障発生の前の時点でのフォークリフトの不具合検知、衝突リスクの軽減、投資・メンテナンス費用の最適化などを実現することができます。

ナローアイル用で業界をリードする、レイモンドの7000シリーズリーチタイプフォークリフト (Reach-Fork®) は集積レーザオプションの導入によりさらなる差別化をはかります。このオプションにより、高所で見にくい位置にある商品の保管・検索を手際良く効率的に行うことが可能となり、生産性を一層高めることができます。レイモンドブランドの新しいフォークリフトは、倉庫や配送センター業務における省人化や生産性の向上を狙いとしています。

このように、レイモンドブランドでは、米国経済に厳しさが見込まれる中でも、躍進が期待される3PLなどの進化・成長している市場に注目し、R&Dやマーケティングの取り組みを強化していきます。また、水素燃料電池技術や他の環境に優しい代替エネルギーの評価・検討を引き続き行うなど、環境保護活動にも注力していきます。マーケットリーダーとしてテクノロジーの最先端を走り続けるために、レイモンドブランドでは代替エネルギーのサプライヤーとも良好な関係を育てていきます。

欧州市場

2008年は、東欧市場では引き続き好調が続くものの、欧州全体では過去2～3年に比べて伸びが緩やかになるものと予想されます。

こうした中、TMHEは、直営の販売会社・マーケティング会社および独立資本のディストリビューター・ディーラーのネットワークを通して、「包括的提案型プロバイダー」としての機能を最大限に発揮してまいります。

トヨタブランドのカウンタータイプフォークリフトとBTブランドのウェアハウス機器による、包括的な商品ラインナップとソリューションでお客様のあらゆるニーズに応え、また万全なサービスでお客様の満足度向上に努めます。

2007年のトヨタTonererに続き、TMHEでは今後2年で欧州市場での商品の7割を新型に切り替える計画です。まず、「CeMAT 2008」国際ロジスティック展でBTブランドのLevioパワーパレットトラックやStaxio立席スタッカーを出展しました。両モデルとも操作性、安全性、耐久性に関する市場調査の結果を反映した全く新しい商品です。欧州市場で販売台数が多いウォーカータイプの機器で、ウォーカー作業向けに開発されました。また、BT Reflexリーチタイプフォークリフトおよびトヨタブランドの48ボルトバッテリー式カウンターのタイプフォークリフトも展示しました。BTブランドの名を高めたこれまでの伝統を引き継ぎ、新型のBT Reflexは従来以上の安全性、生産性、耐久性

を誇ります。トヨタ48ボルトバッテリー式フォークリフトには3輪式と4輪式があり、高機能で生産性がさらに向上しています。バッテリー式カウンターのタイプフォークリフトの分野において、今まで以上に高い競争力を得ることができると確信しています。さらに、TMHEはiSiteを立ち上げます。この情報システムは、フォークリフトとその使用状況から直接得られたデータを元に、お客様の物流コストの低減、安全面の強化、フォークリフト活用の最適化に役立つ情報をお客様に提供できると考えています。

チェサプブランドでは、大型カウンターのタイプバッテリー式フォークリフトのECO-Pの発売を新たに開始します。この6～8.5トン積フォークリフトは、コンパクトながら人間工学面や機能面に優れ、信頼性の高いものとなっています。

TMHEでは、今後もサービスの向上、付加価値のあるソリューションの提案に努めていきます。

インターナショナル・中国市場

2008年のインターナショナル市場は、引き続き高い伸びを示すものと予想されます。こうした中TMHIでは、幅広い市場において商品ラインナップを拡充することにより、競争力を強化して、これまで以上に積極的な取り組みを展開する計画です。大規模な展示会や代理店会議に合わせ、お客様のニーズを一層取り込んだ、市場の力強い成長に応えることができる商品をタイムリーに投入していきます。

インドにおいては、産業車両の需要伸長に対応できる商品ラインナップとサービスの強化に努めます。ブラジルでは、引き続き市場拡大に合わせたサポートの強化に重点的に取り組みます。過去数年間の好実績を元に、ブラジル市場における地位を強固にしていきます。

今後もTMHI全体として、お客様との良好な関係を強化し、お客様へのサポートを向上させるべく最善のソリューションを提案していきます。

早くから参入した中国では、引き続き販売代理店網の拡充や販売代理店の能力向上に焦点を当てていきます。お客様のお役に立てるよう、中国での事業の強化に注力していきます。

Topics

産業車両の国内・海外営業部門を高浜工場へ集約

2008年1月、名古屋支社の国内・海外営業部門を、同事業の開発・生産拠点を置く高浜工場（愛知県高浜市）へ移転しました。これにより、営業部門と開発・生産部門の連携を強化することでお客様のニーズをしっかりと捉え、全機能が一体となって、S（安全）E（環境）Q（品質）C（コスト）D（納期）に取り組むことによって優れた商品を提供してまいります。



同時に新設したショールームでは、お客様に商品の新機能を体感していただくとともに、豊富な商品群による物流改善の提案を行うなど、積極的な販売促進を展開していきます。

チェサプ工場

イタリアのボローニャにあるチェサプの工場は、TMHGが実施するトヨタ生産方式のプログラムを展開しています。このチェサプの生産拠点における一層のトヨタ生産方式の展開に備え、チェサプの中堅マネージャーは、日本の高浜工場でのトレーニングを修了しました。

新商品の生産準備がマネジメントチームにとって主要な課題であり、挑戦でもあります。また、商品の共同開発も計画どおりに進捗しています。物流分野においても見直しを行っており、日本からの部品の輸出もその対象となっています。

この見直しは、棚の商品の荷積みを選隔操作によって最適化するRDFシステムを使用した革新的なキットシステムや順建てシステムによるもので、管理可能な部品点数を45%以上増やすことができます。

「Make it Happen」 TMHEがトヨタ Toner の販売を開始

2007年5月、スペインのマルベラで行われたイベントでエンジン式フォークリフト、トヨタ Toner を発表しました。「Make it Happen」と銘打たれた、このイベントにはTMHEネットワークから120人が出席、19ヶ国から60人のジャーナリストも集いました。「代理店向け公開」、「欧州記者向け発表イベント」、「コーチをコーチするセミナー」といったプログラムが生まれ、いかに Toner が安全性、生産性、耐久性、快適性、環境といった5つの重点分野で業界をリードしているかについて紹介しました。また、特殊なニーズに合わせて、お客様自身で安全性、生産性、耐久性、快適性をさらに向上させることができる Toner+Formula も紹介されました。Toner への反応は極めて良好で、新型フォークリフトへの強い関心はもとより、欧州ネットワーク統合後初めて行われた新商品販売イベントにおいて、TMHEの様々な販売会社のメンバーが顔合わせする機会を持てたことが歓迎されました。トヨタ Toner はフランスのアンセニにある TIESA の工場ですべて2007年9月より生産が開始されました。



レイモンドの燃料電池への取り組みが 高い評価を獲得

2007年、レイモンドは燃料電池フォークリフト用の屋内型水素補給センターを設置し、あらゆる安全認証をクリアしました。必要書類の提出やトレーニングも完了し、現在、燃料電池フォークリフトが工場内で稼働中です。この燃料電池に関する取り組みについては、「Industrial Utility Vehicle」誌や「Industrial Vehicle Technology International」誌で特集記事が組まれました。2007年12月には記者会見を開き、ニューヨーク州エネルギー開発局から請け負ったプロジェクトの調査結果を発表しました。



産業車両

日本および国際市場向け商品



詳しくは www.toyota-lf.com をご覧ください。

産業車両



GENEO (8FG25)
カウンタータイプエンジン式
フォークリフト



GENEO-B (7FB15)
バッテリー式フォークリフト



GENEO-E (7FBE15)
カウンター3輪タイプ
バッテリー式フォークリフト



GENEO-R (7FBR15)
リーチタイプバッテリー式
フォークリフト



トーイングトラクター
(2TD25)

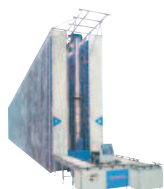


**4輪駆動ショベル
ジョブサン**
(5SDK8)

物流システム



パートナーラック
移動タイプ



ラックソーター B
ユニット式バケット用
自動倉庫



ラックソーター P
ユニット式パレット用
自動倉庫



タグカート
無人搬送車



2AFBR15
無人フォークリフト



APLB8
無人ローリフト



詳しくは www.aichi-corp.jp をご覧ください。

トラックマウント式高所作業車

自走式高所作業車



SH15B



SE08C



SB12A



SP14CJ



SV08CNL

注：アイチコーポレーションはトヨタ マテリアル ハンドリング グループに統合されていませんが、産業車両事業の一翼を担っています。

北米市場向け商品



詳しくは www.toyotaforklift.com をご覧ください。



7FGU70
カウンタータイプエンジン式
ニューマチックタイヤフォークリフト



8FGCU25
カウンタータイプエンジン式
クッションタイヤフォークリフト



7FGCU55-BCS
カウンタータイプエンジン式
クッションタイヤフォークリフト
(ボックスカーブスペシャルモデル)



8FGU25
カウンタータイプエンジン式
ニューマチックタイヤフォークリフト



7FBEU20
カウンター3輪タイプバッテリー式
フォークリフト



7FBCU25
カウンタータイプバッテリー式
クッションタイヤフォークリフト



7BPUE15
バッテリー式オーダーピッカー



詳しくは www.raymondcorp.com をご覧ください。



Raymond Model 7400
Reach-Fork Truck
リーチタイプフォークリフト



Raymond Model 4200 Stand-Up Counterbalanced Truck
カウンター3輪タイプ立席型フォークリフト



Raymond Model 8400 Pallet Truck
ローリフト



Raymond Model 5600
Orderpicker
オーダーピッカー



Raymond Swing-Reach Truck
ベリーナローアイル

産業車両

欧州市場向け商品



詳しくは www.toyota-forklifts.eu をご覧下さい。



Toyota Toner
 カウンタータイプエンジン式
 フォークリフト (1.5 ~ 3.5 トン)



Toyota 7FG/D40
 カウンタータイプエンジン式
 フォークリフト (3.5 ~ 5 トン)



Toyota 7FBMF25
 カウンタータイプバッテリー式
 フォークリフト (80V)



New Toyota 48V
 カウンター 3 輪 / 4 輪タイプバッテリー式
 フォークリフト (48V)
 *2008 年度発売予定



Toyota Traigo
 カウンター 3 輪タイプバッテリー式
 フォークリフト (24V)



Toyota 4CBT2
 バッテリー式トーイングトラクター



BT Vector
 ベリーナローアイル



BT Reflex
 座席型リーチタイプフォークリフト
 *2008 年度発売予定



BT Stratos
 立席型スタッカー



BT Staxio
 スタッカー
 *2008 年度発売予定



BT Minimover
 小型スタッカー



BT Levio
 小型スタッカー
 *2008 年度発売予定



BT Opus
 ローレベルオーダーピッカー



BT Pro Lifter
 起動アシスト付ハンドパレット

詳しくは www.toyota-forklifts.eu をご覧下さい。

物流

生産現場で培ったノウハウにより、 高度で効率的な物流サービスを提供

物流事業の当期の売上高は、前期を281億円(31%)上回る1,175億円となり、2002年に物流事業に参入して以来、6年目での売上高1,000億円達成となりました。

今後も、多くのお客様からの「トヨタ生産方式をはじめ、生産現場で培った改善ノウハウを活かした物流を」というご要望にお応えしていきます。

お客様に最適な物流を提案

豊田自動織機の物流事業は、「物流センター業務の企画・設計・運営」と(株)アサヒセキュリティならびに(株)ワンビシアークाइブズの2社で展開する「高付加価値サービス」、そして大興運輸(株)グループによる「自動車部品物流」の3つの柱で構成されています。

「物流センター業務の企画・設計・運営」は、豊田自動織機のAL事業部ならびに子会社のアドバンスト・ロジスティクス・ソリューションズ(株)(ALSO)が主体となり、様々な企業に対する物流企画の提案や物流センターの運営などを行っています。単なる業務委託にとどまらず、自ら企画・提案した物流ソリューションを実践する中で、常にお客様の立場に立って新たな問題点を見つけ出し、解決することによって物流全体の効率化をはかっています。

「高付加価値サービス」では、2005年3月に子会社化したアサヒセキュリティが、小売業・サービス業等のニーズに対応した、売上金・つり銭の集配金、機械警備事業を展開しています。2007年5月に完全子会社化したワンビシアークाइブズでは、官公庁や企業の重要文書の保管・管理・機密抹消、災害に備えた業務データのバックアップなど、リスクに備えた高度なサービスを提供しています。

「自動車部品物流」では、大興運輸グループが、多数の自動車部品メーカーから運送を委託された部品を納入先別に集約し、パレットに仕分けした上で自動車メーカーに「必要なものを、必要な時に、必要なだけ」お届けしています。トヨタ自動車(株)との協業により、自動車部品物流システム(中継地物流)を業界に先駆けて完成させたパイオニアとして、近年のトヨタ車の生

産増加に合わせ、売上高を順調に伸ばしています。

これらの3本柱により、当社はモノ・現金・情報の流れ、保管を安心してお任せいただける物流サービス体制を構築しています。今後も物流の分野において、トヨタ生産方式の考え方に基づき、徹底したムダを排除することにより、お客様の原価低減ニーズに応えていきます。

Topics

ワンビシアークाइブズ、BPO棟を新設

2008年2月、ワンビシアークाइブズは、関東第3センター(埼玉県)内に新たにBPO棟を建設しました。

このBPO棟は、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービスのひとつである検索サービスの作業用施設で、ご寄託いただいた大量の書類の整理分類、配架、保管ならびに1枚単位からの検索・配信サービスを行います。個人情報保護法やJ-SOX法といった法的規制を背景として企業の情報資産管理体制が厳しく問われる現代社会のニーズに対応し、センター構内、建物内、保管室内それぞれのアクセス制限による部外者の排除、書類保管スペースと作業スペースの明確な区分などセキュリティレベルを極めて高く維持しています。

カーエアコン用コンプレッサー

世界シェアNo.1が品質の証

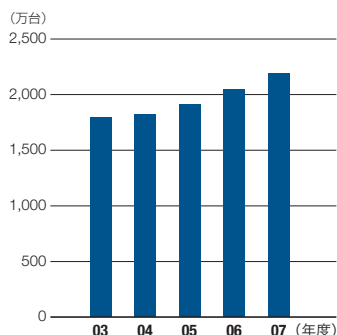
豊田自動織機のカーエアコン用コンプレッサーは、確かな技術と高い品質によって圧倒的な商品優位性を誇っており、世界No.1のシェアがそれを証明しています。今後も世界のマーケットをリードし続けるために、決して妥協することなく技術を磨き、お客様の高度化するニーズに応えていきます。

過去最高の世界販売台数を記録

豊田自動織機のコンプレッサー事業は、独自の技術力で常に他社に先駆けた新商品を開発し、業界をリードしてきました。自動車メーカーとの緊密な連携のもとに開発される当社のカーエアコン用コンプレッサーは、高速信頼性、静粛性、小型・軽量、省燃費などで世界トップレベルの品質・性能を達成しています。代表的な商品として、車内外の温度やエンジンの状況により冷却能力を適正に自動制御する可変容量型コンプレッサーや、小型・軽量化を追求した10気筒斜板式固定容量型コンプレッサーがあり、ともに国内外の主要自動車メーカーに幅広く採用され、世界シェアNo.1を堅持し続けています。

2007年度のカーエアコン用コンプレッサー世界販売台数は、過去最高の2,186万台となりました。お客様のニーズを先取りした商品開発、積極的な拡販活動を展開した結果、欧州・米国を中心に販売台数を伸ばし、前年度に比べ140万台増加しました。

コンプレッサー販売台数



自動車の技術革新への的確な対応

自動車関連技術の進展に伴い、カーエアコン用コンプレッサーに対するニーズも高度化・多様化しています。従来のエンジン車用のタイプでは、原油高や世界的な環境意識の高まりに伴い、これまで以上に省燃費が求められています。当社は、世界で初めて開発した外部可変容量型コンプレッサーの性能をさらに向上させ、圧倒的な商品力で他社との差別化を実現しています。

一方、ハイブリッド車用の分野では、当社エレクトロニクス事業部との協業のもとで開発した電動コンプレッサーが、世界の代表的なハイブリッド車であるプリウスをはじめとしたトヨタハイブリッド車のラインナップに搭載されています。

また、2011年以降に順次実施される欧州での代替フロンの使用規制をにらみ、代替フロンの代わる物質を冷媒とするコンプレッサーの開発を、様々な選択肢を視野に入れて進めています。

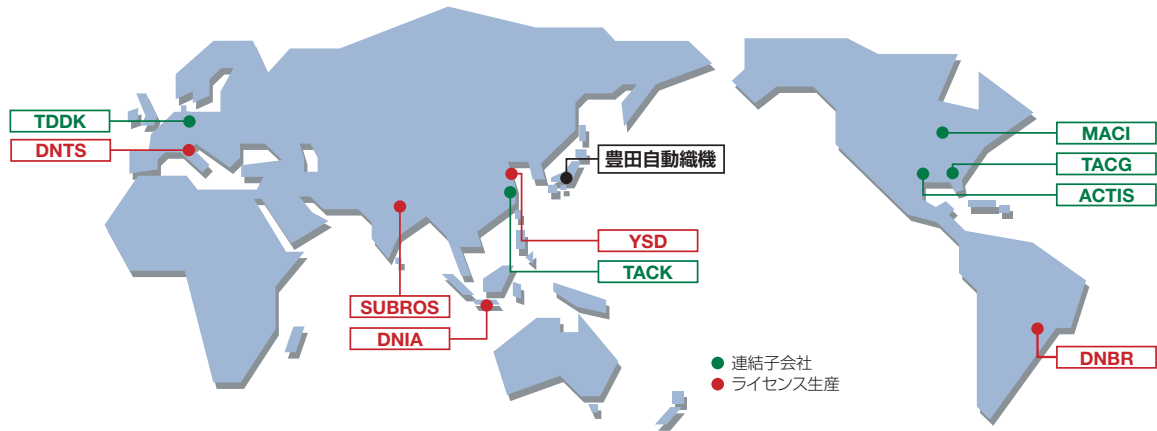
このように、自動車メーカーや社内の他事業部との連携を含めた当社の総合力と技術優位性を最大限に活かしてニーズの多様化への確に対応し、新技術の分野でも強力に開発を推し進めて世界をリードし続けていきます。

高品質・高効率な生産体制

豊田自動織機は、世界のお客様のニーズに応えるため、商品開発に加え生産でも体制の一層の強化に取り組んでいます。

国内外の工場のマザー工場である日本・愛知県の刈谷・大府・東浦の3工場で、金型-ダイカスター加工-組立まで、一貫した生産体制を敷いています。また、各拠点では、社内ですべて自主開

コンプレッサのグローバル生産拠点



豊田自動織機では、アジア、米国および欧州の世界3極で、直接投資によるカーエアコン用コンプレッサの生産を行うだけでなく、アジアや南米などでライセンス生産を行っています。市場に近いところで生産を行うことで、市場ニーズを的確に反映できるだけでなく、物流費の低減や為替変動によるリスクを抑えることが可能になります。

発・製作した設備やロボットを活用し、さらに高品質で効率的な生産を行っています。

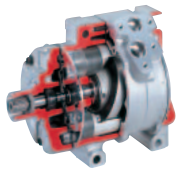
現在、日本、アメリカ、ドイツ、中国に生産拠点を構えており、増加する自動車メーカーからの注文に対応すべく、グローバルでの生産能力の増強や、品質・コスト・納期の一層の強化に取り組んでいます。

Topics

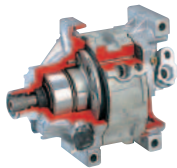
電動コンプレッサのシリーズ化 (ES34)

プリウスを始めとするトヨタハイブリッド車のラインナップに搭載されている当社の電動コンプレッサは、その高い品質が評価され、LEXUSブランドの頂点となるハイブリッドセダンLS600h / LS600hLにも採用されています。

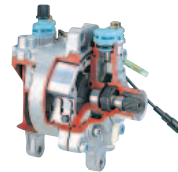
固定容量型



10S17 コンプレッサ
(斜板式)



SCS06 コンプレッサ
(スクロール式)



SV07 コンプレッサ
(ペーン式)

可変容量型

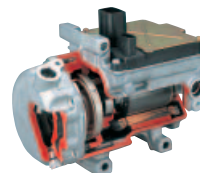


7SBU16 コンプレッサ
(斜板式)

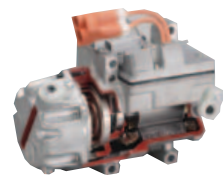


7SEU17 コンプレッサ
(斜板式クラッチレス外部可変容量型)

ハイブリッド車用



ES27 電動コンプレッサ
(密閉型スクロール式)



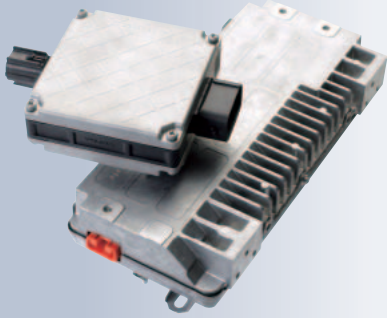
ES34 電動コンプレッサ
(密閉型スクロール式)

自動車

自動車事業のさらなるシナジーをめざして

豊田自動織機の自動車事業は、車両組み立てやエンジン、自動車部品、プレス金型など幅広く担当し、トヨタグループの一員としてトヨタ自動車のグローバル展開に貢献しています。

各事業とも、トヨタ生産方式に基づき効率的かつ業界トップクラスの品質レベルで生産を行っており、今後もクルマの進化を支えていきます。

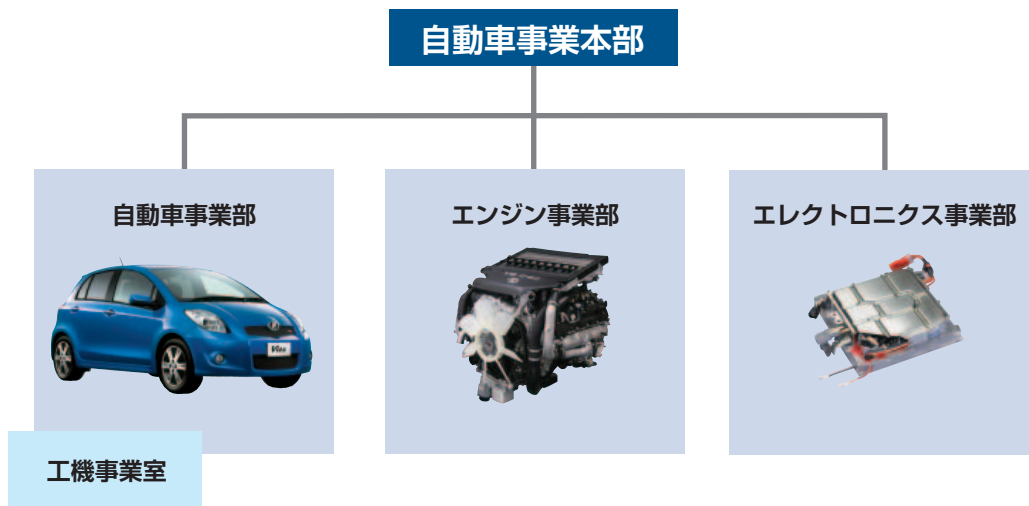


豊田自動織機は、車両、エンジン、カーエレクトロニクスやプレス金型などの開発・生産を行っています。車両組み立て事業ではコンパクト・ミディアムカーの生産を担当し、また、開発にも積極的に参画しています。エンジン事業ではディーゼルとガソリンの両タイプのエンジンを生産し、そのうちディーゼルエンジンでは、トヨタ自動車(株)と共同でクリーンディーゼルエンジンの開発を行うなど、環境対策にも積極的に取り組んでいます。

また、カーエレクトロニクスでは、成長が著しいハイブリッ

ド車用を中心とした電子部品・機器の開発・生産への取り組みを強化しています。

当社の自動車関連事業では、これまで、それぞれの事業部が個別に事業を展開してきましたが、自動車関連事業の力を結集し、一層のシナジーを創出するため、2007年1月に、自動車事業本部を設置しました。今後、各事業を統括して連携を深め、総合力を発揮することにより、魅力あるトヨタ車の開発・生産に貢献していきます。



車 両 QCDでボディメーカーをリード

豊田自動織機では、トヨタ自動車から生産委託を受けてコンパクトカーおよびミディアムカーの生産を担当し、現在は国内・海外向けヴィッツ（海外ではヤリス）と海外向けRAV4、国内専用車マークXジオの生産を行っています。

さらに、トヨタ自動車の新車開発にも参画し、役割を拡大させてきました。

マークXジオの生産を開始 全体で年間過去最高の36万8千台を生産

豊田自動織機は、従来からコンパクトカー専門のボディメーカーとしてトヨタ車の受託生産や開発の一部を担当してきました。2005年にモデルチェンジした2代目ヴィッツ（海外ではヤリス）は、グローバルモデルとして最先端の安全・環境技術を採用するなど、完成度の高いコンパクトカーとして高い評価を得ています。ヴィッツ（ヤリス）同様にグローバルモデルと位置付けられているRAV4は、2005年にモデルチェンジし、広い室内空間、高い走行性能、クラス世界トップレベルの環境・安全性能などによりお客様から高い評価を得ています。

豊田自動織機の車両事業は、トヨタグループボディメーカーでもトップクラスのQCDを誇っており、2007年度もこれらが高く評価されて、前年度に引き続きトヨタ自動車より品質管理優秀賞を受賞しました。当社の車両工場では、トヨタ生産方式のもと、生産工程から徹底してムダを排除することにより、極めて効率性の高い生産を行っています。また、短期間での生産立ち上げ能力に優れており、フレキシブルな生産体制も強みの一つです。

こうして培った当社のQCDにおける高い信頼を背景に、2007年9月からは、新たにミディアムクラスかつ高級車であるマークXジオも担当し、生産を開始しています。このマークXジオは、アッパーボディの開発も当社が担当し、車両工場一体となって効率良く量産体制を整えた取り組みが、トヨタ自動車から高

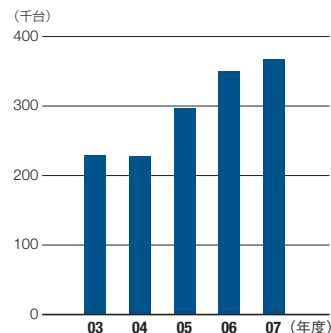
く評価されています。

当社車両工場は、ミディアムクラス高級車マークXジオの生産対応を通じて、塗装をはじめとした品質は従来に比べ一層向上し、サイズの面でもミディアムサイズのほとんどの車種が生産可能になりました。

2007年度は、これら3車種合計で過去最高の36万8千台を生産しました。

今後も、トヨタ自動車グローバルでの一層の成長をめざす中で、当社もQCDのさらなる向上に努め、これまで以上に開発・生産両面での貢献度を高めていきます。

車両生産台数



Topics

トヨタ自動車より品質管理優秀賞を受賞

2008年2月、車体部門と設備部門（プレス金型）が、トヨタ自動車の品質管理優秀賞を受賞しました。この10年間で車体部門では7回目、設備部門では8回目の受賞となりました。

車 両



ヴィッツ



RAV4



マークXジオ

自動車

エンジン クリーンディーゼルエンジンを核に事業規模を一層拡大

豊田自動織機はディーゼルエンジンおよびガソリンエンジンを生産しています。特にディーゼルエンジンは、今後の市場拡大をにらんで、トヨタ自動車と共同で新型クリーンディーゼルエンジンの開発に取り組み、生産まで一貫して担当しています。その他、当社のフォークリフトなどに搭載する産業用エンジンの開発・生産も行っています。

トヨタランドクルーザー用新型V8ディーゼルエンジンを生産開始

現在、ガソリンエンジンに比べてCO₂排出量が少ないクリーンディーゼルエンジンへの注目が高まっています。欧州では既に新車販売の約半分がディーゼル車となっており、また、北米でもエネルギー価格の高騰を背景に、今後ディーゼルエンジンの拡大が予想されています。

このような状況の中、当社は2.2L AD型ディーゼルエンジンをトヨタ自動車と共同で開発し、2005年3月に生産を開始しました。このエンジンは、現在、欧州向けRAV4、レクサスISなどに搭載されています。

さらに、トヨタ新型ランドクルーザー搭載用の4.5L V型8気筒であるVD型ディーゼルエンジンの開発を行い、2007年8月に生産を開始しました。このVD型ディーゼルエンジンは、開発のリーダーを当社の技術者が務めるなど、当社主体で開発を行いました。このエンジンを搭載する新型ランドクルーザーの開発テーマは「King of 4WD」であり、エンジンもこれにふさわしいものでなければなりません。このテーマに応えるべく、「こだわりのオーナーを唸らせるディーゼルエンジンを世界へ」をコンセプトに、排ガスのクリーン化をはじめ、動力性能、燃費、静粛性、信頼性など、すべての領域でトップレベルのディーゼルエンジンをめざし、その目標を達成することができました。この成果が認められ、トヨタ自動車から技術開発賞が贈られました。

2007年度は、このVD型ディーゼルエンジンやIMV（世界戦略車）シリーズ用KD型ディーゼルエンジンが好調で、過去最高の51万台（外部お客様向けの販売台数）の販売を達成しました。

トヨタグループにおけるディーゼルエンジンのトップメーカーへ

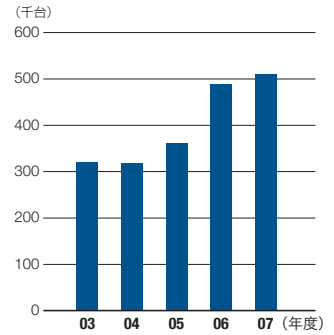
豊田自動織機はこれまでも、実験棟の拡充や開発人員増強などエンジン開発体制の強化をはかってきました。今後も世界のクリーンディーゼルエンジン市場の成長を的確に見据え、次世代クリーンディーゼルエンジンの開発やタイムリーな能力増強を行い、トヨタグループにおけるディーゼルエンジンのトップメーカーをめざしてまいります。

当社ではディーゼルエンジン以外に、ガソリンエンジンの生

産も行っています。当社のガソリンエンジンの生産ラインは、機種や量の変動に迅速に対応するため、無人搬送車などを活用したフレキシブルな体制で生産を行っています。また、新商品を短期間かつ低コストで立ち上げるなど生産準備の能力は高く評価されています。

さらに、フォークリフト用のエンジンの開発・生産も行っており、当社フォークリフトの競争力強化に貢献しています。

エンジン生産台数



Topics

トヨタ自動車より技術開発賞を受賞

当社は、2007年度、新型ランドクルーザー搭載用のVD型ディーゼルエンジンの開発で、トヨタ自動車から技術開発賞を受賞しました。排ガスのクリーン化や動力などの性能、ランドクルーザー用エンジンとしてのタフネスさが高く評価され、今回の受賞となりました。

エンジン



VD型ディーゼルエンジン
(排気量 4.5 ℓ、ランドクルーザー搭載)



2AD型ディーゼルエンジン
(排気量 2.2 ℓ、RAV4、レクサスIS搭載)



2KD型ディーゼルエンジン
(排気量 2.5 ℓ、ハイラックス
ヴィーゴ搭載)



2AZ-FE型ガソリンエンジン
(排気量 2.4 ℓ、エスティマ搭載)

カーエレクトロニクス 進化するハイブリッド車を支える電源機器

豊田自動織機は、これまで培ったパワーエレクトロニクスの回路技術、電気駆動システム開発力を活用し、ハイブリッド車用など自動車関連の電子部品・機器の開発・生産を行っています。

レクサスLS600h用DC-DCコンバーターを新開発

当社は、バッテリーフォークリフトで培ったパワーエレクトロニクス技術をもとに、各事業の電子部品を内製化して技術を蓄積する一方、ハイブリッド車用のDC-DCコンバーターや車載用ACインバーターの開発・生産を進めてきました。DC-DCコンバーターは初代のトヨタプリウスに採用された後、ハリアーハイブリッド、カムリハイブリッドにも搭載され、2007年にはレクサスLS600h用までシリーズを拡大させてきました。この他に、車の直流電源を交流へ変換することにより車内で家電製品が使用できるACインバーターの開発・生産も行っています。

品質向上・コスト低減の継続的な活動はもちろん、ハイブリッド車市場の拡大をにらんで、新工場による量産体制の拡充も進めています。

ハイブリッド車のさらなる進展を見据えた取り組み

今後、開発体制をさらに充実させ、自動車関連の他の事業と連携を一層深めながら、次世代の自動車ニーズを先取りした新商品の開発・提案を積極的に行っていきます。特に商品力を差別化するうえで重要となるサイズ・重量・コストの低減技術の確立や、今後の商品化に大きな期待がかけられているプラグインハイブリッド車用機器の開発にもさらに力を注いでいきます。自動車向け商品は、これまでのコンバーターなどの補機に加え、今後、基幹部品の商品開発も強化していきます。

また、社内各事業部とも連携し、バッテリーフォークリフトの走行・荷役コントローラを始めとする、産業車両や繊維機械など当社商品の重要機能部品を供給し、競争力のある商品づくりに貢献していきます。

Topics

トヨタ自動車より技術開発賞を受賞

2007年度、エレクトロニクス事業部では、レクサスLS600h用DC-DCコンバーターの開発において、トヨタ自動車から技術開発賞を受賞しました。

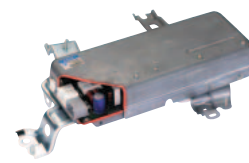
省エネニーズが一層高まる中で、ハイブリッド車用の基幹部品の開発を通して車の省燃費等環境負荷低減に貢献していきます。

カーエレクトロニクス



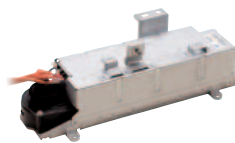
プリウス搭載
DC-DC コンバーター

ハイブリッド車用バッテリーの高電圧をライト、ワイパー、ホーンなどの補機用の低電圧へ変換する商品。



ハリアーハイブリッド (RX400h)
搭載 EPS 用 DC-DC コンバーター

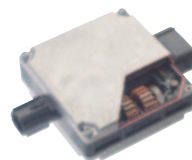
ハイブリッド車用バッテリーの高電圧を電動パワーステアリング用の低電圧に変換する商品。



カムリハイブリッド搭載
DC-DC コンバーター



LS600h 搭載 EPS 用
DC-DC コンバーター



LS460 搭載 EPS 用
DC-DC コンバーター



タコマ搭載
AC インバーター (400w)

車室内で様々な電気製品を使用するために、自動車用補機バッテリーの直流電源を交流電源へ変換する商品。

繊維機械

エアジェット織機を核にグローバルNo.1を確保

トヨタグループの歴史は、豊田佐吉による自動織機の発明から始まりました。

創業以来、先進技術の追求とたゆまぬ創意で革新的な繊維機械を次々と生み出し、国内外の繊維産業の発展に大きく貢献してきました。2007年度も前年度に引き続き、1万台を超えるエアジェット織機を販売しました。



織機

織機事業では、よこ糸を空気の流れで運ぶエアジェット織機などを開発・生産・販売しています。当社の繊維機械は高速性、信頼性に優れ、また、インターネットを介したモニタリング機能や遠隔設定機能を備えており、その機能性も世界的に高い評価を受けています。

主力のエアジェット織機は、近年の中国向けの増加により、高水準の販売が続いており、2007年度も前年度に引き続き、販売台数1万台超えを達成しました。この結果、世界シェアNo.1を確保。1997年以来、10年間にわたりトップシェアを堅持しています。

Topics

エアジェット織機

累計生産台数10万台を達成

豊田自動織機は、2008年2月、エアジェット織機の累計生産台数10万台を達成しました。1980年5月に初代モデルJA型第1号機を生産してから27年9ヶ月での達成です。

エアジェット織機7代目となる現行モデルのJAT710型は、高速性、省エネ、低振動といった優れた基本性能により、中国をはじめ世界中で高く評価されています。また、技術改良を重ねた結果、従来のエアジェット織機では織ることが難しかった、自動車用エアバッグや、電子基板に利用されるガラス繊維など、様々な繊維にも対応できるようになり、より幅広いニーズに応えられる織機に進化しています。

今後も、省エネによる環境負荷低減や高速化による生産性の一層の向上などを目的とした技術開発に注力するとともに、グローバルな販売・サービス体制を強化して、世界中のお客様のご期待に応えていきます。

紡機

紡機事業では、高速リング精紡機、粗紡機など、高品質な紡出性能と生産性を両立させた商品を幅広くラインナップして、お客様の多様なニーズに応えています。

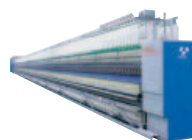
海外では、子会社のキルロスカ トヨタ テキスタイル マシナリー(株)(KTTM)が、インドで現地市場向けにリング精紡機の生産を行っており、グローバルな商品供給体制を実現しています。

織機



JAT710 エアジェット織機

紡機



RX240 シリーズ
高速リング精紡機



FL200 高速粗紡機